

United States Air Force

在日米軍 横田基地 広報部

374th Airlift Wing Public Affairs Office

FACT SHEET

横田基地

概要

横田基地は、東京の西の端に位置し、奥多摩の麓、都心からおよそ40kmのところにある。日本に3か所ある米空軍基地の一つである(他に沖縄県の嘉手納基地、青森県の三沢基地がある)。

1940年(昭和15年)に旧日本陸軍立川飛行場の付属飛行場として開設され、「多摩飛行場」と呼ばれた。第二次世界大戦中は日本の主要な航空機試験場として機能し、陸軍航空審査本部をはじめ、陸軍航空整備学校、陸軍航空発動機試験所、陸軍航空機気象部等の諸機関が置かれていた。当時の滑走路は1,200m。終戦直後には180機以上の最新鋭機があった。

1945年9月4日に同飛行場に米軍が進駐した。横田という名称は当時の飛行場の東にあった小さな村の名前にちなんで付けられたと言われている。その後の多大な建設計画の末、横田基地は最も近代的な空軍基地の一つとなり、日本における米軍の主要な飛行場として機能している。

現在、横田基地には、在日米軍、第5空軍、第374空輸航空団の司令部が置かれているほか、西太平洋地域での任務を担う多数の部隊が所在している。在日米軍司令部は統合軍司令部で、日米同盟の強化や日米防衛関係に影響を及ぼす事柄の調整を行っている。第5空軍司令部はアメリカ合衆国の抑止力政策に貢献し、万が一その抑止が崩れた時には空中作戦を行うため、戦術戦闘機の提供と軍事空輸支援を行う。横田基地の管理部隊である第374空輸航空団は、インド太平洋地域における唯一の空輸航空団として空輸支援を行っている。

総面積: 約7,0814km²

基地の境界は5つの市と1つの町(立川市、昭島市、武蔵村山市、福生市、羽村市、瑞穂町)に接している。

横田基地の人口: 11,500(人)

軍人	3,400	日本人従業員	1,000	契約業者	250
軍人扶養家族	4,300	航空自衛隊員	1,000		
米民間人	500	パートナーユニット	1,050		

主な施設:

横田基地には、在日米軍、第5空軍、第374空輸航空団、第515航空機動運用群、第730航空機動中隊、AFN(米軍放送、以前の極東放送FEN)、太平洋空軍音楽隊の各司令部をはじめ、消防、警察、病院、空港ターミナル等の施設がある。

一般施設としては、住宅、小学校、中学校、高校、大学の分校、図書館、銀行、スーパーマーケット、コミュニティーセンター、野球場、ゴルフショートコース・練習場、体育館、テニスコート、プール、将校クラブ、下士官クラブ、食堂、ガソリンスタンドなどがある。

その他に、横田基地の管轄下に多摩市と稲城市にまたがる多摩サービス補助施設があり、そこにはゴルフ場やキャンプ場等がある。

第374空輸航空団（横田基地）



第374空輸航空団は、全空軍再編成の一環としてそれ以前にあった横田基地の第475基地航空団と第374戦術空輸航空団が統合再編成され、1992年4月1日の再編制式をもって一つの航空団として活動を開始した。第374空輸航空団は太平洋空軍(PACAF)の指揮下に置かれている。

第374空輸航空団の配下には、運用群、整備群、使命支援群、医療群の4つの群(グループ)があり、運用群にはC-130J スーパーハーキュリーズの第36空輸中隊、UH-1とC-12を運用する第459空輸中隊、管制塔などを管理する運用支援中隊が所属している。整備群には整備中隊と航空機整備中隊が所属し、使命支援群には施設、通信、軍支援、契約、憲兵、装備即応中隊、(第337)航空支援小隊の7つの部隊が所属している。そして医療群には、運用医療即応、歯科、医療支援、医療運用、外科運用の5つの中隊が所属している。

平和時と有事における主要な西太平洋の空輸のハブとして、第374空輸航空団は太平洋地域管内の国防総省の機関へ人員物資の移動および郵便業務のための空輸を提供し、また関東平野および都内において人員や機材の輸送を担う。平和時には、さまざまな合同訓練に参加することにより即応態勢を常に維持している。

第374空輸航空団は、インド太平洋地域における機敏な空輸作戦により、迅速な地球規模の機動力を展開することを使命としている。

横田基地所属航空機

機種	愛称
C-130J	スーパーハーキュリーズ
C-12J	ヒューロン
UH-1N	ヒューイ

飛来する主な中継機

機種	愛称
C-5	ギャラクシー
KC-135	ストラトランカー
C-17	グローブマスター
KC-10	エクステンダー など

横田基地所属 戦術輸送機 C-130J-30 スーパーハーキュリーズ (製造: ロッキード・マーティン社)



インド太平洋地域において部隊および装備の空中投下、空輸支援、戦術的空輸作戦、航空医療搬送、捜査救助、人道支援の任務を担う。不整地での離着陸可能。

乗員 3名/128名(空挺92名) 全長 34.41m 翼幅 40.45m
全高 11.61m 最大速度 約 660km/h 発動機 AE2100D3 X 4 基
ロールスロイス社製 プロペラ数 6 枚

横田基地は地域社会との親睦を図るため、「日米友好祭」などの開放行事を行っているほか、スペシャル・オリンピック、マラソン大会、ツアーなども行っている。